

The library news

夢の図書館

10月号 (第200号) 2018年10月22日発行

夢野台高校図書委員会編集B

こんにちは。先日10月の予定が書かれた、ホワイトボードを見ました。

『10月、予定多くない?』きっと、先生や生徒も『忙しすぎて、本を読む暇がない!!』と思っていますよね。安心して下さい!! 10月30・31日、図書委員が行うハロウィンの福袋イベントがあります。(※1・2年生の昼休み廊下)

(S.H)

図書委員のおすすめ本

「白銀の逃亡者」



知念 実希人 著

本の紹介で『一気に読み間違いなし!!』と書かれていたので、軽い気持ちで読み始めたら最後。

謎を振りまきながらも、スピード展開していくミステリーと医療の融合した一冊です。ちなみに、著者の知念実希人さんは作家でもありながら現役医師ということもあり、医療の描写にもリアルティがある本です。

(2年 S.H)

「〇〇の丸かじりシリーズ」



東海林 さだお 著

みなさんは、「この食べ物を食べる時は、こうでないといけない!」というこだわりはありますか?たとえば、「目玉焼きは、半熟で醤油じゃないとだめ!!」「両面焼きの塩!!」など。

この本は、東海林さだおさんの食へのこだわりが綴られています。食欲の秋に、ぜひ1度手にとってみてください。

(2年 Y.N)

「リアル鬼ごっこ」

山田 悠介 著



ホラー小説を中心に活躍する作家、山田悠介さんのデビュー作。西暦 3000 年のとある王国。「佐藤」が増えすぎた国で、「佐藤」を効率的に抹殺するための計画『リアル鬼ごっこ』がはじまった。

映画やゲームにもなった、超超超有名作品だからこそ、読んでみてください。



(1年T. S)

「墮落論」

坂口 安吾 著



太宰治と並び、無頼派の一人とも言われている、坂口安吾。「墮落論」は坂口安吾の代表作とも言われ、「生きるとは何か？」あらためて見つめ直せる作品です。

敗戦後、自由を手に入れた人々だが・・・墮落していく。救える方法は！！

『戦争で負けたから墮ちるのではなく、人間だから墮ちるのであり、生きているから墮ちるのだ。だが、人間は永遠に墮ちぬくことはできないだろう』



(1年S. K)

「2. 43 清陰高校男子バレーボール部」

壁井 ユカコ 著



東京の強豪中学バレー部でトラブルを起こした、灰島公誓は、福井県のド田舎に引っ越しをした。

そこで、幼馴染の黒羽祐仁と再会する。ほとんど活動していないバレー部で、一人黙々と練習をする灰島だが、黒羽とし

だいにうちとけ、共に上を目指す青春小説です。



(SHO)